

12/6 木

## 薬価下げる社会保障削減狙う

### 診療報酬改定調査

厚生労働省は3日、2022年度の診療報酬改定に向けた調査で、医療機関が卸業者から仕入れる薬の市場価格が国の定めた公定価格の「薬価」より平均約7・6%安かったとする結果を公表しました。この差額に基づいて薬価を引き下げ、高齢化などで増える社会保障費の伸び（自然増）分の削減に利用する狙いです。

薬の市場価格は、医療機関の価格交渉の努力などによって薬価よりも安いになります。そのため、薬価を引き下げた分の財源は医療機関で

人件費や設備関係費を充てられる診療報酬「本体部分」に上積みされましたが、「自然増削減」に固執し、卸業者から仕入れる薬の市場価格が国の定めた公定価格の「薬価」より平均約7・6%安かったとする結果を公表しました。この差額に基づいて薬価を引き下げ、

よいされなければならぬ」として、マイナス改定を迫りています。

一方、厚労省が実施した経営調査では、一般病院は収益率がほぼプラスマイナスゼロで、長期借入金残高は5千万円近く増えています（もとより20年度平均値）。Jの日の総会で、日本医師会の委員は「診療報コロナ禍のもとで医療過誤（ひがひく）を招きました。財務省は医療費削減ありなら」と強調しており、改定率をめぐる攻防が激化しました。「診療報酬改定等にまつわる因習は払拭（ふっし）てこます。

## 病床削減「重点」3区域追加

再編統合など計画

「重点区域」に新潟県の上越市と佐渡、広島県の尾三（おとさん）の2県3区域を追加

高齢化などで増える社会保障費の伸び（自然増）分の削減に利用する狙いです。薬の市場価格は、医療機関の価格交渉の努力などによって薬価よりも安いになります。そのため、薬価を引き下げた分の財源は医療機関で

17区域となりました。重点区域は、複数医療機関での再編統合などを計画している地域が対象。国は区域内の診療実績のデータ分析・助言や財政支援で再編統合へ誘導します。

今回選定した3区域では、再編対象として上越区域は県立の中越・柿崎・妙高の3病院と上越地域医療センター病院、新潟労災病院、県厚生連の上越総合病院・けいなん総合病院・糸魚川総合病院を、佐渡区域は佐渡市立の西津・相川の2病院と県厚生連の佐渡総合病院・南佐渡地域医療センターを、尾三区域は三原赤十字病院と三豊三原病院をあげています。今後、地域医療をする住民運動がいっそう求められます。